

< 1 > 2017年度 事業報告

1 妊娠期から乳幼児期の「親そだち」支援事業

1. 1 子育てひろば「みつばちっこ」

0～1歳児を中心とした乳幼児の親子を対象に、市川市内の公民館など5ヶ所で月1回開催し、14年目を迎えた。月齢の小さな赤ちゃん親子がくつろげる環境として、主に和室に遊具や絵本を用意し、近隣の地域に居住するスタッフが活動している。参加者同士、近況や子育てで気がかりなことなどを話し合う、出会いと仲間作りの場となっている。

10月の担当者会議で参加者アンケートを検討し、12月から翌年3月に実施した。それによると、みつばちっこを知ったきっかけは、友人の誘い、親子つどいの広場やこども館のちらしが多く、地域によっては町内の掲示板が多い。毎月保健センターにちらしを置き、4か月赤ちゃん講座や相談で来所した親子への紹介をお願いしているが、それをきっかけに参加した親子は少ない。なるべく早い時期に乳児親子に情報が届くよう、さらに保健センターとの連携を密にしていきたい。

みつばちっこに参加した感想は、「近所に知り合いができた」、「同月齢の親子と交流できた」、「先輩ママに経験談を聞ける」、「家ではできない遊びや体験」、「リフレッシュできた」など、地域を知り、子どもの成長を振り返り、子どもとの生活に見通しを持てるようになる場となっている。

来年度は、みつばちっこの開催回数や開催場所を増やすことを検討していきたい

<<参加組数>> * () は内数で新規参加者

	信篤地区	菅野地区	本行徳地区	新井地区	鬼高地区	全地区
4月	7(1)	15(6)	3(0)	5(0)	4(0)	34(7)
5月	8(2)	10(2)	1(0)	6(2)	10(5)	35(11)
6月	8(2)	13(6)	4(0)	7(1)	12(7)	44(16)
7月	8(1)	16(2)	2(0)	10(5)	3(2)	39(10)
8月	6(2)	3(0)	休	休	7(4)	16(6)
9月	6(2)	6(0)	8(5)	24(13)	10(4)	54(24)
10月	4(1)	2(1)	19(17)企画	12(2)	11(1)	48(22)
11月	9(4)	8(1)	6(4)	12(1)	20(8)	55(18)
12月	4(0)	10(5)	3(2)	9(2)	8(1)	34(10)
1月	7(3)	7(1)	2(0)	8(1)	13(3)	37(8)
2月	5(1)	5(0)	6(4)	11(4)	9(3)	36(12)
3月	5(3)	5(0)	4(1)	11(0)	11(3)	36(7)
合計	77(22)	100(24)	58(33)	115(31)	118(41)	468(151)
月平均	6.4(1.8)	8.3(2.0)	5.2(3.0)		9.8(3.4)	
28年度	7.9(3.3)	9.4(4.3)	3.2(1.3)	5.4(1.9)	10.4(3.4)	
27年度	3.2(1.5)	6.7(2.6)	4.0(1.5)	8.4(2.6)	6.2(1.8)	
26年度	9.8(2.0)	9.5(3.1)	2.1(1.0)	5.7(1.5)	8.3(2.0)	
25年度	8.2(2.4)	8.1(2.3)	5.9(2.2)	10.1(3.9)	11.2(3.0)	
24年度	9.3(3.8)	8.9(3.7)	4.0(2.4)	7.1(2.0)	10.2(2.9)	
23年度	8.8(2.9)	5.8(3.4)	3.3(1.3)	9.2(2.1)	15.0(4.5)	
22年度	8.1(3.8)	4.3(1.4)	4.8(1.8)	10.1(3.5)	—	

- 担当者会議：10/20(金)参加7名、2/20(火)参加7名
毎月の広場会議、コーディネーター会議でも課題を確認し、検討した。
- いちかわっこ WEB への情報提供：各みつばちっこの予定をいちかわっこ WEB へ掲載した。
- 市川市家族の週間：11月のみつばちっこ全日程を、家族の週間広報に掲載した。

- てるぼサロン：信篤地区、菅野地区、新井地区、鬼高地区で認定されている。
2/10（土）てるぼサロン活動支援講座 勤労福祉センター 参加3名
- コープみらいテーマネット：本行徳地区、みつばちっこ担当者交流会として参加。

《信篤地区》 信篤公民館 主担当：藤城・徳安

信篤子ども館掲示板のちらしの効果もあり、毎月新規の参加者があり浸透してきている。継続した来所でお子さんが2歳を過ぎた方に、先輩親子としてお手伝いをお願いした。自己紹介の中で気軽に悩みや質問を話せる雰囲気がある。父の日や家族の週間企画で手形スタンプを取るときや、毎回お茶を入れるときなど、子どもを見合うなど助け合って会話が弾んでいる。

信篤・二俣地域ケアシステム推進連絡会に参加し、自治会掲示板へのポスター掲示の実現をめざし、地域の方々との繋がりを深めている。

《菅野地区》 菅野公民館 主担当：井上・花蜜・手塚

菅野地区の子育てママに、おしゃべりを中心に気軽に集まれる場の提供を基本とした活動を続けてきた。新スタッフが加わり、若いママの感覚で新しい風を吹き込んでいる。参加者は終了後にランチ会に行ったり、引越しや保育園入園の挨拶に来たり、つながりが深まっている。

保健センターや菅野公民館から見学があった。

菅野公民館企画 11/30(木) 「ママと一緒に広場で遊ぼう ～わらべうたで遊んだり何でも話して交流しましょう～」の講師依頼があり、講師1名とスタッフ2名、参加者19組で開催した。

菅野地域ケアシステム推進連絡会に参加した。

《本行徳地区》 本行徳公民館 主担当：川城・三宅

1歳を過ぎた参加者は、みつばちっこで知り合って地元のお祭りや自宅プールなどで交流し、親密さが増していた。9月からはチラシの効果で新規の参加者が増えた。

10月に講師を招いてリトミック体験を行ったところ、当日多くの参加者があり知名度は得られた。少人数だからこそ皆でゆっくり話ができ、困りごとの解決のきっかけを見つけたりストレス解消になっている。

《新井地区》 新井自治会館 主担当：櫻井・川俣

口コミやネットで調べて来る方や、継続して参加される方が多く、1歳を過ぎたママからのお話しが子育て中の不安な気持ちを和らげているようだ。

9月にはリトミック体験を講師を招いて行った。新規の方が多く、自治会館での開催を知るきっかけになった。11月の家族の週間では足形アートを作った。参加者同士教え合ったりお話ししながら作れる簡単な工作を毎回行っていたが、ゆっくりお話ししたい方もいて、今後は季節の節目などに行きたい。

《鬼高地区》 鬼高公民館 主担当：内山・藤城

アパートやマンションが多い地区で、引っ越して来て地域に知り合いのない中で子育てする家庭が多い。新規で来る方は掲示板を見てくる方が多い。今年度はお茶を自分のタイミングで好きなものが飲めるセルフスタイルにしたところ、交流が広がる動きが増えた。

市川市立第六中学校のいのちの教育講演会とふれあい体験に、自主的に協力を引き受ける方が多い。講演会はインフルエンザの流行のため中止となったが、中学生と親子の交流が地域に広がるきっかけになればと思う。

1. 2 親子つどいの広場（市川市委託）

(1) 広場の運営

		新井親子つどいの広場	八幡親子つどいの広場
1	開設日	月曜日～土曜日（週6日）	祝日、年末年始（12/28～1/4）を除く
2	開設時間	10:00～16:00	
3	職員配置 *リーダー	8名 寺内*、川俣、徳安、森元、川城、櫻井、森、三宅	11名 花蜜*、内山、井上、藤城、塩路、宇野、牧野、水口、柏熊、小林、渡部
4	ボランティアスタッフ	2名	5名
5	施設場所	市川市新井三丁目31番1号 新井地域ふれあい館内	市川市八幡四丁目2番1号 市川市役所八幡分庁舎1階

(2) 利用者数

《新井親子つどいの広場》

29 年度	開所 日数	登録組数		利用組数		利用者数							業務	
		市内	市外	合計	1日 平均	大人	子ども	合計	双子	父	祖父	祖母	相談	情報 提供
		組	組	組	組	人	人	人	組	人	人	人	件	件
4月	24	32	1	504	21.0	513	621	1,134	28	12	0	5	28	11
5月	24	18	4	538	22.4	544	683	1,227	23	7	0	2	22	14
6月	26	23	1	647	24.9	657	792	1,449	24	8	1	4	21	25
7月	25	23	3	621	24.8	634	779	1,413	17	13	0	4	17	8
8月	26	23	3	602	23.2	620	788	1,408	17	15	0	6	23	6
9月	24	24	8	609	25.4	619	758	1,377	19	10	1	12	22	12
10月	25	10	5	550	22.0	559	683	1,242	10	9	0	7	16	5
11月	24	30	3	578	24.1	592	682	1,274	1	14	0	1	21	26
12月	22	16	1	483	22.0	491	592	1,083	5	10	0	3	17	15
1月	22	8	1	529	24.0	534	633	1,167	3	10	0	3	28	10
2月	23	13	5	536	23.3	549	626	1,175	2	11	0	2	22	5
3月	26	20	6	564	21.7	580	659	1,239	3	24	0	7	19	13
合計	291	240	41	6,761		6,892	8,296	15,188	152	143	2	56	256	150
月平均	24.3	20.0	3.4	563.4		574.3	691.3	1265.6	12.7	11.9	0.2	4.7	21.3	12.5
日平均				23.2				52.1						
28年度	291	266	44	7,106		7,185	8,483	15,668	113	100	0	31	267	128
27年度	292	282	17	6,947		7,074	8,389	15,463	13	172	1	22	267	133
26年度	293	217	63	6,623		6,766	5,711	14,277	22	162	3	39	190	99
25年度	292	270	36	7,289		7,401	8,355	15,756	94	135	4	63	256	93
24年度	292	243	31	6,173		6,241	7,345	13,586	163	62	16	32	368	126
23年度	293	270	26	6,869		6,937	8,067	15,004	84	90	2	55		
22年度	285	264	31	6,741		6,825	7,661	14,486	1	96	1	34		
21年度	289	252	29	7,062		7,130	8,087	15,217	8	92	1	25		
20年度	293	350	45	7,176		7,265	8,095	15,360	55	93	2	92		

《八幡親子つどいの広場》

29 年度	開所 日数	登録組数		利用組数		利用者数							業務	
		市内	市外	合計	1日 平均	大人	子ども	合計	双子	父	祖父	祖母	相談	情報 提供
		組	組	組	組	人	人	人	組	人	人	人	件	件
4月	24	57	0	736	30.7	778	856	1,634	3	54	7	14	17	23
5月	24	42	2	735	30.6	782	830	1,612	10	48	7	18	14	38
6月	26	41	6	823	32.9	866	950	1,816	11	58	3	19	20	43
7月	25	40	2	758	29.2	795	911	1,706	7	50	4	20	13	31
8月	26	36	0	639	25.6	694	760	1,454	3	59	2	14	15	31
9月	24	42	0	823	34.3	860	965	1,825	8	49	3	12	24	31
10月	25	37	0	740	28.5	766	835	1,601	1	43	2	16	18	43
11月	24	38	4	816	35.5	836	949	1,785	6	45	2	13	13	34
12月	22	37	2	671	29.2	701	767	1,468	1	44	0	15	11	24
1月	22	25	0	633	27.5	663	734	1,397	3	45	2	11	10	21
2月	23	36	0	743	32.3	775	849	1,624	2	55	5	20	19	27
3月	26	41	2	836	32.2	875	956	1,831	6	50	3	17	27	39
合計	291	472	18	8,953		9,391	10,362	19,753	61	600	40	189	201	385
月平均	24.3	39.3	1.5	746.0		782.5	863.5	1646.0	5.0	50.0	3.3	15.8	16.8	32.1
日平均				30.8				67.8						
28年度	292	541	27	9,508		9,926	10,802	20,728	135	562	64	126	202	329
27年度	290	520	8	7,375		7,629	8,426	16,055	214	327	39	148	178	367
26年度	293	558	19	8,381		8,685	9,488	18,173	331	390	42	299	275	292
25年度	292	596	24	8,526		8,816	9,711	18,527	169	300	150	261	402	420
24年度	292	545	27	7,789		8,075	8,285	17,254	102	340	73	248	251	295
23年度	293	457	15	6,940		7,210	8,260	15,470	88	317	54	319		
22年度	285	449	22	8,114		8,399	9,679	18,078	26	323	268	274		
21年度	289	487	19	8,566		8,790	9,448	18,238	136	297	296	207		
20年度	293	612	17	9,071		9,361	10,078	19,439	301	329	266	302		

(3) 新井親子つどいの広場

<子育て親子の交流の場の提供>

- ・利用者同士子どもを遊ばせながらゆっくり話しをしたり、遊び・食事・排せつ・発達・他の親子のかかわりなどの様子を見ることで、子育ての悩みが自分だけでないことを知り、日々の負担感が軽減される様子がある。利用者同士で子どもを預かって広場に連れてくるなど、助け合いの様子がよくあった。以前利用していて子どもが小学生になり、母自身はファミリー・サポート両方会員となって、預かりのお子さんを連れて数年ぶりに利用する方があった。
- ・きょうだいを連れた利用が増え、子どもの年齢にとられない交流があった。
- ・午後は0歳児が和室に集うことが多い。初めて来所した親子に、何度か利用している母親たちが声をかけたり子どもと一緒に遊ばせたりして、話ができるよう気を配っていた。発売されたばかりの抱っこひもの使い方を実演したり、気になることを聞きあっている。
- ・ファミリーデー：月1回土曜日に設けた。ほかの日の家族や父親の利用数と変わらないため、ファミリ

ーデーならではの出会いの場を活かせるよう、家族で利用したり父親が広場に来るきっかけになるよう検討を続けた。今年度は、父親が単身赴任や長期出張で不在の家族など、テーマを持った回を検討したが、開催には至らなかった。2月、3月は木育広場を合わせて開催したほか、3月は赤ちゃん向けの手作りおもちゃを企画し、父親たちが手作りする姿があった。

- ・おいでよ！ふたごさん：双子の母から提案があり、自身が双子であるスタッフを中心に、月1回「おいでよ！ふたごさん」を開催した。双子の親子が広場を知るきっかけとなり、電車で来所したり双子の日以外にも来所するなど利用が増えた。利用者が、これから広場に来る双子親子の参考になればと、自身の経験から育児に必要なものや便利なもの、育児のコツなどを書きまとめたファイルを作成した。ファイルを見て自分の双子の経験を書き加えた利用者もいて、内容がさらに充実した。9/22に担当スタッフがさくらんぼの会に出向いて広場を紹介した。1月、2月は土曜に開催し、元利用者で幼稚園児になった双子と3ヵ月児の双子の交流などがあった。3月は保健センターから見学があった。

※「おいでよ！ふたごさん」の開催と参加組数

平成29年4月24日(月)5組、5月23日(火)5組、6月23日(金)3組、7月25日(金)5組、8月24日(木)5組、
9月21日(木)7組、10月24日(火)3組、11月21日(火)0組、12月21日(木)5組、
平成30年1月27日(土)2組、2月24日(土)2組、3月20日(火)1組

- ・利用者の自主活動：トーンチャイムサークルは平成28年12月から週1回程度、他の利用者や子どもに気を配って練習を続け、その様子をみて参加者が増えた。6/19八幡親子つどいの広場10周年コンサートに参加。7/5ご本の日日に「たなばた」を演奏した。12/12クリスマスコンサートに参加。
- ・おいでよ！0歳：8年目の開催となった。「このままでよい」というアンケートに答え、内容は変えていない。アイスブレイク、今月のテーマを含んだ自己紹介、参加者から出された「こんなときどうしてる？」から困りごとを選んで経験を伝え合ったあと、わらべうたを紹介している。毎回のように「1歳になったので卒業します」という声が聞かれ、母親自身の成長が感じられる。

※「おいでよ！0歳」の開催と参加組数

平成29年4月20日(木)29組、5月22日(月)18組、6月13日(火)18組、7月21日(金)18組、8月28日(月)13組、
9月26日(火)23組、10月19日(木)9組、11月16日(木)22組、12月18日(月)17組、
平成30年1月23日(火)7組、2月20日(火)20組、3月13日(火)20組

<室内の環境作り>

- ・壁面装飾などで季節の行事を楽しんだ。6月は天の川に見立てた七夕飾りを天井に作り、利用者が願いごとの短冊をつるした。10月はハロウィンのフォトコーナーを設け、赤ちゃんから幼児までさまざまな仮装をして写真を撮っていた。秋の壁面では、利用者が毛糸でサツマイモを立体的に作り、子どもたちが毛糸のおいもに触ったり、いも掘りのように毛糸のつるをひっぱっていた。節分には利用者親子とアイデアを出し合い、鬼の的あてを作成して子どもたちが色ぬりをした。
- ・おすすめのお出かけスポットを、利用者から集めて掲示した。
- ・リサイクル衣料が多く寄せられ、利用者同士床に広げたり子どもに合わせて、持ち帰っている。

<外庭での交流>

- ・野菜作りが得意な利用者から自家製肥料をもらってアドバイスを受け、草花や野菜（枝豆、トマト、きゅうり、なす、ゴーヤ、さつまいも）を育てた。親子で種まき、苗の植え替え、水やり、収穫を行った。
- ・暑い日は外庭にたらいを用意した。月齢の低い子ども、安心して初めての水遊びを楽しんでいた。
- ・年齢の高い子どもたちははだしになって外庭に出て、どろんこ遊びや追いかっこなど元気に走り回っている。母たちは、暑い日も寒い日も外に出て、時には交代しながら子どもたちと過ごし、様子を見守りながら交流を深めている。

<ボランティアや学生との交流>

- ・学生にとって、子育て中の母親たちや乳幼児、子育て支援の現場を知る学びの場だけでなく、母たちから学生への積極的な声かけがあり、お互いの理解を深めていた。
- ・夏休みボランティア（7/24～8/31）に、中学生1名と高校生4名が参加した。

そのうち高校生2名は、県の「高校生のためのボランティア体験講座」からの申し込みだった。

- ・帝京平成大学ボランティア課題の学生を受け入れた。国際医療福祉大学成田看護学部から地域育児支援実習（2日間）の実習生を受け入れた。9/19(火)～10/26(木)15名
- ・地元の市立中学校3校の職場体験を受け入れた。当日は先生と親子の交流もあった。

妙典中 7/7(金)2年生2名、第七中 11/1(水)、2(木)2年生3名、南行徳中 11/9(木)、10(金)2年生2名

<新井地域ふれあい館や外部との連携>

- ・新井地域ふれあい館の消防訓練に地域の方と参加した。9/4(月)、2/22(木)消防・AED訓練
- ・南行徳保健センターと、ハッピーマタニティ・フェスタや子育て交差点などイベントで顔を合わせる機会が増えた。1月は離乳食に関して広場講座の講師を依頼した。保健推進員を委嘱されたスタッフが3名おり、3ヵ月赤ちゃん訪問で広場を紹介したり、広場来所時の親子の様子を保健師と共有している。
- ・広場の新規ボランティア募集にあたり、子育て支援課（1/24 子育て支援ボランティア交流会）、ファミリーサポートセンター（2/17 基礎研修 両方会員）、南行徳保健センター（2/1, 2/8 保健推進員ブロック会議）にちらしの配布を依頼した。
- ・12/8～1/12 子育て支援課アンケート 100部実施
- ・3/14～ 国際医療福祉大看護学部「乳幼児の子どもを持つ外国人母の妊娠・出産・こどもの発育・子育てに関する情報探索行動の実態調査」に協力。外国語を母国語とする母にすすめた。
- ・行徳新聞 6/2取材、6/9号に掲載
- ・ピタットハウス南行徳店 7/15取材、ブログに掲載

<子育て等に関する相談、援助の実施>

- ・利用者からふとした会話の中に出された困りごとや、気になる親子の様子について日々の日誌に記録した。毎月のスタッフ会議で情報を共有し、スタッフそれぞれが感じたことを話し合い、利用者への対応を検討した。利用者同士をつなぎ、それぞれが持つ子育ての知恵を引き出し活用できるようにした。

・主な相談内容

4ヶ月児の遊び方、後追い、夜泣き、離乳食、寝がえりしない、おもちゃは何が良いか、トイレトレーニング開始時期、言葉の遅れ、赤ちゃん返り、指しゃぶり、小さな子を突き飛ばす、水いぼの治療、あせも、騒音の苦情、幼稚園選び、保育園選び、プレ幼稚園、市外の幼稚園、卒乳、おっぱいのケア、出産・入院中のサポート、復職への迷い、職場の理解、母親の体調不良、上の子のストレス、祖父母と同居の不安、婦人科検診、突然の引越し、夫の単身赴任、夫の海外赴任 など

<地域の子育て関連情報の提供>

- ・保育園情報、幼稚園情報、子育てサークル等に関する閲覧用ファイルを作り、情報を随時更新した。市の広報やホームページから情報を取り、近隣の地域子育て支援センターやこども館の行事予定、保健センターの歯みがき講座や発達相談日の日程、すこやか応援隊主催の行事等を掲示している。00歳児の集まる催しや離乳食講座などへの関心が高い。
- ・お花見、夏祭り、お出かけ情報などを利用者から募集して掲示した。その他に赤ちゃんから参加できるコンサートなど、地域で行われる行事や催し物などの情報を紹介した。
- ・月1回広場だよりを発行し、今月の予定、講座の紹介、おすすめの絵本やおもちゃ、ガーデニング、広場の最近の様子などを掲載している。
- ・提供した主な情報

ファミリー・サポート説明会、両方会員基礎研修、子育てナビ、産後ホームヘルプ、子育て交差点、幼稚園預かり保育、子育てサークル情報、さくらんぼの会、ようちえんガイドブック、幼稚園情報、簡易保育園、新設保育園、プレ幼稚園、地域交流、近隣の小児科、眼科、耳鼻科、皮膚科、ファミリーフェスタ、神社の豆まき情報、0歳からのフルーツコンサート、夏まつり、防災訓練、そのほか地域のイベント、コミュニティバス、ママサポートタクシー、子ども家庭総合支援センター、いちかわっこWEB、あんしんホットダイヤル、チーパス など

<子育て及び子育て支援に関する講習等の実施>

- ・利用者の関心の高いテーマ（幼稚園選び、イヤイヤ期、離乳食、トイレトレーニング）に関して、聞いてみたいことや困っていることを利用者が事前にポストイットに書きだし、それに沿って講座を検討した。当日参加できなかった方が掲示をみて、参加した方に話を聞いていた。
- ・4月「ミサンガを作ろう」4月「聴く耳を育てるリトミック」に引き続き、6月「どう決める？幼稚園」では利用者に講師をお願いした。自分の経験が他の方の参考になることを大変喜んで、個別の質問に丁寧に答えていた。

開催日	講習内容	講師	参加者数
平成29年4/15(土)	ミサンガをつくろう	広場利用者 坂入文香さん	7組
5/18(木)	聴く耳を育てるリトミック	元広場利用者 リトミック～奏～ 岩本まゆさん	23組
6/19(月)	どう決める？幼稚園	在園、卒園児の母5名	37組
7/6(木)	トイレトレーニング おむつはずしのこつ	トイレトレーニングトレーナー 安田知佐子さん、石田由美子さん	25組
8/8(火)	おもちゃを作って遊ぼう	広場スタッフ	15組
9/12(火)	みんなでペタペタ！ どろんこあそび、水あそび	広場スタッフ	7組
10/11(水)	いやいや期を知ろう	子育て支援アドバイザー 広場スタッフ 川俣英子	13組
11/18(土)	家族の週間 新聞紙で遊ぼう 楽しいね、びりびり！くしゃくしゃ！	広場スタッフ	21組
12/12(火)	クリスマスコンサート	ママさんフルートアンサンブル バンビーノ 11名、トチャイム8名	38組
平成30年1/19(金)	これでいいのかな 離乳食完了期を知ろう	南行徳保健センター 保健師 福田陽子さん	36組
2/13(月)	折り紙でおひなさま	広場スタッフ	10組
3/7(水)	気軽にヨガ	ヨガインストラクター 渡辺茂美さん	21組

- ・毎月18日前後を木育広場として、良質な木のおもちゃでゆっくり遊べる機会を設けた
- ・親子で絵本に親しんで欲しいと、平成24年度から毎月5のつく日（5日、15日、25日）を「ごほんの日」とした。スタッフや利用者による絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを行っている。自分の好きな絵本を持参して、読んでくれた方もいる

※ごほんの日の開催と参加組数

平成29年4月5日(木) 7組・15日(土) 3組・25日(火) 5組、5月25日(木) 5組、7月5日(水)16組・25日(火)10組、
8月5日(土)4組・15日(火)10組、25日(金)6組、9月5日(火)4組・15日(金)6組、25日(月)18組、
10月5日(木)5組・25日(水)9組、11月15日(水)5組・25日(土)4組、12月5日(火)10組、15日(金)4組、25日(月)5組
平成30年1月5日(金)4組・15日(月)15組、25日(木)5組、2月5日(月)15組・15日(木)6組、
3月5日(月)11組・15日(木)10組

- ・月1回、地震や火災を想定した避難訓練を、時間帯や避難路を変えて行った。子ども用防災頭巾や大人用ヘルメットを使用し、終了後は防災や日頃の備えを参加者と話し合い、緊急時への意識が高まった。

※避難訓練の実施と参加組数

平成29年5月29日(月) 5組、6月20日(火)7組、9月30日(土)8組、10月25日(水)6組、11月20日(月)3組、
平成30年1月31日(水)10組、2月27日(火)5組

(4) 八幡親子つどいの広場

<子育て親子の交流の場の提供>

- ・広場をアットホームな空間として利用し、親子が積極的に他の方へ声をかける姿がたくさん見られた。子育てのちょっとした困りごと、悩みなどを語りあい、情報交換する場になっている。
- ・母親だけでなく、父親や祖父母の利用も多い。第2子出産のため、祖母が上の子を一定期間連れて来ることがよくある。親戚やファミリー・サポート協力者、家族での利用が増えた。
- ・交通の便が良いため、会社の同僚、家が遠い友達や祖父母との待ち合わせ場所として利用がある。市外に転居しても居心地がよいという方や、市外からネットで調べて遊びに来る方もいる。
- ・11月に0歳児を持つ方から、大きな子(3歳児)が走り回って利用しにくいという意見が寄せられた。0～3歳児の共有スペースとして快適に過ごせるように、環境の見直しや危険な場面でのスタッフ対応について話し合った。ベッドやすべり台の配置を換え、赤ちゃん優先エリアが分かりやすくなるよう仕切りを置いた。制作やお絵描きのコーナー、絵本のコーナーを作り、じっくり遊べるようにした。スタッフの同士の連携について具体的な目標を立て、混雑したなかでも声を掛け合って行動できるよう努めた。
- ・子どもが入園、入学を迎えた広場利用者が、新しく広場スタッフやボランティアになった。日々の清掃手順等を見直す機会になったり、新しいアイデアが提案されたりした。そのことがスタッフ同士刺激になり、利用者が過ごしやすい環境づくりにつながった。
- ・利用者の声を聞きながら、来所者、スタッフ共に使いやすいように、食事場所やおむつ交換台のレイアウトなどを随時変更した。

<広場内と周辺環境づくり>

- ・公園側自転車の駐輪について、公園課の掲示や広場前掲示・スタッフの声かけに努めた。
- ・救急対応やケガの応急処置を確認し、近隣病院連絡先一覧をつくり、即時に対応出来るようにした。
- ・貴重品や手荷物の管理について掲示や声かけをして、自己管理を徹底するよう努めた。
- ・台風、ゲリラ豪雨、大雪などのときは無理のない来所を呼びかけ、帰宅経路等を聞き場合によっては帰宅を促すなど、安全に務めた。
- ・8月の台風接近や1～2月の降雪など、子育て支援課指導のもと安全に開所できるよう努めた。台風時の枯れ葉や枝、降雪時の雪かきなど、上階の市役所職員や清掃業者と協力して対応し、利用者の安全な通路確保が出来た。
- ・11月下旬、12月上旬に2回に分けて大掃除を行った。

<ボランティアや学生との交流>

- ・夏休みボランティア(7/24～8/31)に、小学生4名、中学生2名、高校生5名が参加した。
- ・帝京平成大学ボランティア課題の学生を受け入れた。国際医療福祉大学成田看護学部から地域育児支援実習の実習生を受け入れた。8/21～11/28 32名
- ・6/6(火) 保健センターから依頼があり、保健師実習の学生1名を受け入れた。
- ・8/24 「女性が輝くために」大学AO入試のため、高校生が来所し聞き取りアンケートを行った。利用者が積極的に質問に答えていた。「働くことのみが社会参画ではない、子どもを育てることが社会参画」と話す母の姿もあった。
- ・第六中学校職場体験受け入れを昨年同様行った。

<外部との連携>

- ・9月 ひろば全協「地域子育て支援拠点の質的向上と発展に資する実践と 多機能化に関する調査」回答
- ・12/8～1/12 子育て支援課アンケート 100部実施
- ・3/14～ 国際医療福祉大看護学部「乳幼児の子どもを持つ外国人母の妊娠・出産・こどもの発育・子育てに関する情報探索行動の実態調査」協力。外国語を母国語とする母にすすめた。

- ・市川新聞取材 6/16号に掲載
- ・8/7(月)夏休みボランティア取材 J-COM、市広報課、ボランティアNPO課

<子育て等に関する相談、援助の実施>

- ・夫や祖母と一緒に妊婦の来所が多い。第2子、第3子の妊婦と交流し、他の赤ちゃんを見て、ママになることを体感していた。妊婦から利用者証を発行した。産後2ヶ月くらいで赤ちゃんを来所し、初めての育児についてスタッフに相談したり、継続して利用している。
- ・A I T Iからの紹介で、妊婦から来所される方が増えた。そのことをスタッフが担当保健師に伝えたり、チラシなどの情報を広場に持ち帰ったりして、顔の見える関係作りを心がけた。
- ・第2子、第3子の妊娠や出産が多く、産前産後の支援の説明や、上の子の赤ちゃん返りや兄弟の悩みなど、相談を受けることが多かった。
- ・離乳食、夜泣き、イヤイヤ期などの子育ての悩みはあるが、来所者同士で交流していく中で、少しずつ子育てに自信を持っていくようである。
- ・家庭の事情、ワンオペ育児、叱りすぎてしまう、発達障害があるのでは?など様々な相談がある。ゆっくり話を聴いて、必要な情報を提供出来るようにした。「話を聞いてもらって楽になった」「やり方かえてみたらうまくできた」など、その後の経過の報告がよくあった。
- ・主な相談内容
生活リズム、卒乳、夜泣き、離乳食の偏り、トイレトレーニング、昼寝しない、発達について、言葉が遅い、いやいや期、じんましん、1歳半検診、フッ素、小児科のかかり方、転入したばかり、幼稚園情報、プレ幼稚園、保育園の待機、いらいら、ママの付き合い、母親の体調不良、出産・入院中のサポート、産後のサポート、二人育児 など

<地域の子育て関連情報の提供>

- ・月1回の広場日より発行で、毎月の予定、ハッピーエピソード、プチインフォメーションなど、普段の広場の雰囲気伝える記事や季節の情報を紹介した。外から見えるよう入口に広場だよりを貼ったところ、閉所時や通りがかりに見る方がいて、講座の予定を知り参加につながった。
- ・春は「近隣お花見スポット」、夏と秋は「まつり情報」、冬の「地域のお雑煮」を広場内に地図にして掲示し、利用者におすすめの場所を記入してもらった。利用者から集めたチーパスのお得なお店情報の掲示は、利用者同士よく参考にしていた。
- ・遠くから遊びにくる親子も多いため、市内の地域子育て支援センター、こども館、てるぼサロンなどの情報を掲示し、自宅から歩いていける範囲で親子がつどう場所の情報提供をした。
- ・子連れで行ける美容院、病院、ヨガ教室など、ちらし掲示の要望があるが対応はできない。利用者の口コミで広がっていた。
- ・提供した主な情報
ファミリー・サポート説明会、子育てナビ、産後ホームヘルプ、子育てセミナー、子育てカフェ、親力スキルアップ講座、赤ちゃんが来た!講座、地域子育て支援センター、幼稚園預かり保育、子育てサークル情報、子育て応援メッセ、ふれあい交流、あそびぼ、家族の週間、幼稚園情報、プレ幼稚園、地域交流、園庭開放、ようちえんガイドブック、ファミリーフェスタ、八幡回遊展、神社の豆まき情報、夏まつり、中山のひな祭り、子育てタクシー、防災マップ、すこやか応援隊、いちかわっこWEB、あんしんホットダイヤル、近隣の小児科、チーパス など

<子育て及び子育て支援に関する講習等の実施>

- ・今年度から毎月の講座をスタッフ全員で分担して企画実施するようにした。スタッフの人脈や特技を生かした講座づくりができた。
- ・ママの特技や資格を生かし、英語で遊ぼう、バイオリンと声楽のコンサート、マジックショーや音楽遊びなど、新しい試みができ、利用者に好評だった。

- ・新井親子つどいの広場で結成されたトーンチャイムサークルと、八幡親子つどいの広場で結成されたハンドベルサークルとのコラボレーションを実現し、すべてママ主体で講座を企画した。サークル活動の楽しさ、大変さなど情報交換し合う場となった。
- ・伝統行事や季節のイベントをとりあげて講座を開催した。行事の由来などを伝え、行事の大切さを感じたり楽しんだりすることが出来た。
- ・地域防災課と協力して、9月の防災月間に合わせて「避難訓練」「女性防災」について利用者と考える機会を設けた。子連れで避難に困ることは何かを皆で話し合った。地域防災課の方に、非常時に不安な親子の生の声を聞いてもらう機会となった。平日であったが両親で参加される利用者もあり、家族で災害に備えようという関心の高さがうかがえた。

開催日	講習内容	講師	参加者数
平成 29 年 4/20(木)	お楽しみ交流会	広場スタッフ	12 組
5/22(月)	MY名札作り	広場スタッフ	14 組
6/19(月)	広場 10 周年「広場コンサート」	新井トーンチャイムサークル ハンドベルサークル Love♡鈴's	28 組
7/3(月)	たなばた会	広場スタッフ	25 組
8/7(月)	広場マジックショー	マジシャン 高橋正樹さん	15 組
9/7(木)	広場防災講座	危機管理課 仙波敏郎さん B Jプロジェクトチーム 井原陽子さん	14 組
10/14(土)	英語で遊ぼう！ ～外国の絵本、音楽と触れ合おう～	小学校外国語活動指導員 村上康子さん	11 組
11/18(土)	家族の週間 手作りおもちゃで遊ぼう！	広場スタッフ	7 組
12/13(水)	クリスマス会	声楽家 渡辺裕子さん ヴァイオリニスト 渡辺せいりさん	40 組
平成 30 年 1/16(火)	広場で小正月	広場スタッフ	25 組
2/2(金)	節分会	広場スタッフ	10 組
3/26(月)	春のお楽しみ会 ～春らしい手遊びやパペット、歌をみんなで楽しもう～	公津の杜なかよしひろば 谷口道子さん、松原寿子さん	39 組

- ・のんびり赤ちゃんタイム：月 2 回開催。日ごろ家に赤ちゃん二人きりで会話不足のママたちが、久しぶりにおしゃべり出来て嬉しかったと毎回好評で、畳スペースがいっぱいになる。ロコミ等で周知され、月齢の低い赤ちゃん親子の参加が増え、その後の広場利用につながっている。第 2 子、第 3 子のママやいろいろな年齢の親子が交流の場が作られている。

※「のんびり赤ちゃんタイム」の開催・・・第 2、第 4 火曜日

平成 29 年 4 月 11 日 11 組・25 日 28 組、5 月 9 日 14 組・23 日 29 組、6 月 13 日 12 組・27 日 13 組、
7 月 11 日 7 組・25 日 12 組、8 月は毎日開催、9 月 12 日 8 組・26 日 8 組、
10 月 10 日 6 組・24 日 10 組、11 月 14 日 6 組・28 日 8 組、12 月 12 日 9 組・26 日 8 組、

- ・パパタイム：月 1 回開催。パパが広場に来るきっかけとなっている。他のパパとの交流で会話盛り上がり連絡先を交換したり、家族ぐるみでランチに出かける様子が見られた。

※「パパタイム」の開催・・・第 4 土曜

平成 29 年 4 月 27 日 5 組、5 月 22 日 12 組 6 月 24 日 6 組、7 月 22 日 7 組、8 月 26 日 10 組、9 月 30 日 8 組、
10 月 28 日 6 組、11 月 25 日 7 組、12 月 16 日 6 組、平成 30 年 1 月 27 日 8 組、2 月 24 日 7 組、3 月 24 日 8 組

- ・避難訓練を定期的に行い、スタッフ・来所者共に非常時の対応を考える機会となった。危機管理意識が高まり、身につけてきている。定期的な非常用袋の確認、ヘルメット・子ども用防災頭巾の着用方法など、日頃から来所者に触ってもらい、緊急時に使えるよう心がけている。

※避難訓練の実施と参加組数

平成 29 年 4 月 26 日(水) 5 組、6 月 28 日(水) 5 組、7 月 21 日(金) 8 組、8 月 15 日(火) 6 組、9 月 7 日(木) 防災講座、
12 月 14 日(木) 9 組、平成 30 年 2 月 21 日(水) 10 組、3 月 28 日(水) 10 組

(5) 広場関連

1) 会議・広場スタッフ研修・外部研修・外部との連携

○スタッフ会議：毎月のスタッフ会議を月1回から増やした。*新井は隔週1回

環境整備、利用者の様子等、スタッフ間で迅速に情報を共有し、それぞれが感じたことを十分に話し合い、利用者への対応を検討した。新井親子つどいの広場と検討し、広場月間のスタッフ目標を立てた。

－6～9月 「朝一番、スタッフの息をあわせよう」

－10～12月 「スタッフ間で立ち位置を確認しよう」

－1～3月 「スタッフ間で声を出して、立ち位置を確認しよう」

○相談窓口連絡会議：各機関の事業内容説明を受け、相談窓口の担当者との交流を深めた。各2名

・5/19(金) 保育施設・アイティの説明、前回の意見交換で出されたことへの回答、グループワーク

・1/18(木) すこやか応援隊事業説明、グループワーク

○5/26(金), 27(土) 子育て応援メッセ ー4/13, 5/11 打合せ参加

○6/18(日) ハッピーマタニティ・フェスタ ー4/27, 6/8 打合せ参加

○6/29(木) 「親力スキルアップ講座 子育て維新の機中八策」 渡邊直氏講演 1名

○7/9(日) 子育てひろば全国連絡協議会 子育て支援士2種養成講座 3名

○7/29(土)30(日) 子育てひろば全国連絡協議会 リーダーシップ研修 1名

○9/3(日) ハッピーマタニティ・フェスタ ー8/23 打合せ参加

○9/22(金) 千葉県保育協議会 平成29年度地域子育て支援拠点施設担当者研修会

「子育て支援者の役割 保護者支援とその対処」 新保庄三氏講演 1名

○9/30(土) 子育てひろば全国連絡協議会 子育て支援コーディネーター研修 1名

○11/17(金) 「育てづらさを感じたら」 藤井和子氏講演 2名

○11/24(金) 子育て交差点 ー9/29, 11/2 打合せ参加

○1/8(月) 発達障害児シンポジウム「どの子ども地域で元気に育てよう」佐藤慎二氏講演他 3名

○1/18(木) すこやか広場講座「きっと子育てが楽になる7つのコツ」 三浦久美子氏 1名

○1/31(水) 市川市特別支援教育振興大会『「自分らしく」学び「自分らしく」社会参加するために』

「発達障害を持つ子どもの家族とレジリエンス」 中野三津子氏講演 1名

○1/28(日) 子育てひろば全国連絡協議会 地域子育て支援拠点研修 中堅従事者向け 2名

「地域子育て支援拠点事業の役割と展望、子ども・子育て支援新制度について」川鍋慎一氏

「利用者支援事業における拠点スタッフの役割と力量」倉石哲也氏

分科会 ①妊娠期からの切れ目ない支援と地域子育て支援拠点の連携を考える 1名

②地域子育て支援拠点における利用者支援事業 1名

○2/3(土)、2/4(日)、2/10(土) ペアレント・トレーニング トレーナー養成 渡邊直氏

「子育て維新の機中『八策土』養成講座」 2名

○2/6, 2/20 ステップアップセミナー(PC講習) 1名

○保健推進員研修 3名

2) 利用手続き等

・新規登録者、他の広場で登録された方、出産で追加登録された方、転居された方などに対して手続きを実施した。

・利用者による貴重品管理について、自己管理をお願いした。

3) 環境整備

- ・玩具消毒、清掃などの衛生管理方法を常に見直し徹底した。
- ・冬場は感染症予防のため、室内の換気と湿度の管理に努め、おもちゃの消毒や利用者への声かけなどを心がけた。ノロウィルス、インフルエンザ等の感染症に対し、手洗いとうがいをうながす掲示をし、子どもでも使いやすい泡の消毒剤を設置した。嘔吐の処理用に、次亜塩素酸ナトリウム希釈液や使い捨て手袋などを常備した。
- ・子どもが大きくなった利用者から、リサイクル衣料の他、家で遊ばなくなったプラレールや外遊び用の乗り物などおもちゃの寄付が多くあり、安全を確かめて利用した。
- ・タイルカーペットを増やし、床下からの冷えに対して寒さ対策を行った。

<八幡>

- ・業者が広場内に入る蛍光灯の交換や、エアコンのフィルター・床・窓などの清掃は、子育て支援課および管財との連絡を密に取り、なるべく開所時間外の作業となるよう依頼した

<新井>

- ・地域の方や通りすがりの方に広場を知ってもらうよう、掲示板として入口側フェンスに、親子つどいの広場のちらしと最新の広場だよりを掲示した。
新井地域ふれあい館の入り口へ間違えて行く方が多いため、外庭の角に案内の矢印を掲示した。
- ・新規に大型ブロックを設置した。家や乗り物に見立てて0～3歳児が集まり、改造に人気がある。
- ・砂場管理や玩具消毒、清掃などの衛生管理方法を常に見直し徹底した。
- ・庭木の手入れ、毛虫などの害虫駆除を随時行った。
- ・広場保管のAEDは、撤去となった。(新井地域ふれあい館に設置されているため)

4) 事故、災害等への対応

- ・火災や地震の発生に備え、危機管理マニュアルの確認、避難袋・救急箱の整備、非常口・避難方法の確認に努めた。定期的に利用者と避難訓練を実施した。
- ・荒天や大雪など広場への来所または帰宅が困難なときや、交通機関が乱れる恐れがあるときは、利用者へ周知し無理のない来所を呼びかけ、安全確保に努めた。
- ・3月に避難確保計画(浸水想定区域内にある要配慮者利用施設向け)を、水防法に基づいて策定した。

1. 3 子育てサロン「みつばちっこサロン」

0歳児の親子を対象に申し込み制のサロンを、シェアスペースと新井地域ふれあい館で月1回開催した。少人数でゆったり参加でき、出会いと仲間作り、情報交換の場となっている。

歩けるようになったお子さん向けに、八幡近隣の公園に月1回出向き、みつばちキッズを開催した。

<<参加組数>> ()は内数で新規参加組数

	赤ちゃんサロン	わらべうたサロン	新井わらべうたサロン	みつばちキッズ	備考
4月	5(3)	2(1)	14(7)	2	
5月	6(3)	5(2)	13(6)	5	
6月	5(0)	7(2)	15(4)	5	
7月	10(7)	10(4)	5(0)	10	
8月	休	休	5(0)	休	
9月	6(0)	9(2)	7(4)	15*	*水遊び
10月	9(4)	8(1)	3(2)	雨天中止	
11月	7(0)	8(1)	3(2)	8	
12月	5(3)	8(2)	4(3)	7	
1月	7(0)	8(0)	4(3)*	8	*保健センター見学
2月	6(1)	9(1)	5(1)	13華経寺	
3月	9(1)	17(5)	4(1)	14バス遠足*	*市川市動植物園
合計(平均)	75(6.8)	91(8.2)	82(6.8)	87(8.7)	
28年度	68(6.2)	48(4.4)	122(10.2)	63(7.0)	15(7.5)
27年度	54(5.4)	39(3.5)	74(6.7)	96(8.7)	17(8.5)
26年度	76(6.9)	57(5.2)	83(6.9)	86(8.6)	29(9.7)
25年度	44(4.0)	58(5.3)	102(8.5)	146(9.7)	43(6.1)
24年度	67(5.6)	75(6.2)	49(7.0)	45(5.6)	164(10.9)

《赤ちゃんサロン》 主担当：川島・花蜜・手塚 *第2水曜10:30-13:00、参加費500円

同じマンションに住む参加者から「のんびりできてよい」と教わって来た方、2人目が生まれ「また来られて嬉しい」と参加する方など、ロコミヤリピーターが多い。初めての子育てに不安がいっぱいの参加者が、先輩ママから発育や離乳食など経験談を聞いていた。数ヶ月後には、先輩ママとして経験談を話していて、成長の連鎖を感じた。知り合った方達で誕生会やハロウィンイベントなどを開催した。

《わらべうたサロン》 主担当：島田・内山 *月1回10:30-13:00、参加費500円

開催場所の移転で広くなり、1歳を過ぎても引き続き参加する親子が多く、毎回10組前後の申し込みがあった。初めて参加した低月齢の赤ちゃん親子を先輩ママたちが温かく迎え入れていた。わらべうたを家でも歌って遊んでいるようで、サロンで一緒に口ずさんでいる。4、5月頃は食後に母親のそばで遊んでいた子どもたちも、秋頃からは活発に動くようになった。

《新井わらべうたサロン》 主担当：寺内・島田 *月1回13:30-15:30、参加費500円

前期は参加者の月齢が近く一斉にサロンを卒業し、その後月齢の低い赤ちゃん少人数での開催が続いている。「おとなのわらべうた」の時間は童心に帰ると好評だ。上にお子さんがある方が、初めての子育て中のママの話をよく聞いている。南行徳保健センターの保健師が見学し、その後赤ちゃん親子に勧めている。来年度はおしゃべりの時間のテーマを決め、より交流を深められるよう工夫したい。*新井地域ふれあい館

《みつばちキッズ》 主担当：藤城・渡部 *第3火曜10:30-12:00、参加費100円

みつばちっこやサロンでの声かけ、広場や自治会掲示板のちらし掲示などで浸透してきた。「どろんこ遊びや水遊びは普段はやらないが、今日だけは思いっきりやらせている」、「おもちゃの取り合いも、お外のせいか貸せるようになった」等、外遊びの良さや子どもの成長を実感している。よちよち歩きの子どもの外遊びのデビューにも繋がった。*八幡児童公園等

1. 4 親育ち支援講座

(1) 成田市児童ふれあい交流事業

「親子で音を楽しむ ONGAKUのワークショップ ～いい音さがそう、音で遊ぼう！～」

－8/26（土）成田市公津の杜コミュニティセンター

－講師：池田邦太郎（帝京平成大学児童学科講師）、
斉藤明子（NPO法人「音」を「楽」しむONGAKUの会副理事長）

－参加者：約 40 組

空き缶に水を入れてつなげた‘マリンカン’は、耳で聴くだけでなく頭やあごにあてて振動を感じる。身近にあるものが奏でる“音”に親子でふれて楽しんだ。



(2) いのちの教育講演会

－3/8（木）市川市立第六中学校

－参加者：1、2年生41名、鬼高みつばちっこを利用する地域の親子7組

生徒と赤ちゃんのふれあい体験は今年で4回目となった。生徒たちは4ヶ月児を抱っこしたり、がらがらのおもちゃを鳴らし、母たちから「自分も中学生の頃にこんな体験をしてみたかった」などの感想があった。

*1/29いのちの教育講演会はインフルエンザ流行により中止



(3) 親子つどいの広場、なかよしひろばでの実施

新井親子つどいの広場や八幡親子つどいの広場では、定期的に0歳児や双子、父親を対象に、講座を設けた。また利用者を講師とした講座を企画した。

なかよしひろばでは、NPプログラムおよびBPプログラムを開催した。

1. 5 サークル支援

- ・育自サークルひまわりの定期託児を、月2回行徳公民館で行った。
- ・新井親子つどいの広場では、トーンチャイムを定期的に練習する親子の集まりができた。12月のフルートサークルとの共演、「おいでよ！0歳」での演奏など、活動を広げサークル化を検討している。

1. 6 なかよしひろば (成田市委託) : 公津の杜なかよしひろば

<実施概要>

1	開所日時	毎月第4月曜日と年末年始(12/29~1/3)を除く9:00~16:30 *第2土曜日午後3時閉館
2	職員配置 常時4名以上 (うち管理者(常勤)1名)16名	伊藤(L、常勤)、島田(S.L、常勤)、青柳(S.L)、松原(S.L、常勤) 和田、斎藤、佐藤美奈子 谷口、川島、上野、尾野、林、佐藤、樋口、笠井、竹田
3	アシスタントスタッフ	早矢仕、田中
4	ボランティアスタッフ	松島
	施設場所	成田市公津の杜4丁目8番地 公津の杜コミュニティーセンター1階

<事業実績数 利用者数等>

29年度	開所 日数	新規 登録 *	利用 組数	利用者数									業務		
				子ども	母	父	祖母	祖父	その他	小学生	市外 ホラ	合計	相談		
	日	組	組	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	件	
4月	29	504	1,376	1,703	1,234	152	57	17	8	35	5	3,211	43		
5月	30	194	1,348	1,662	1,220	163	48	13	9	22	25	3,162	32		
6月	29	161	1,713	2,106	1,576	168	50	10	14	18	29	3,971	41		
7月	30	166	1,895	2,416	1,759	191	63	23	10	57	24	4,543	19		
8月	30	140	1,563	2,070	1,340	207	66	12	12	86	10	3,803	25		
9月	29	103	1,699	2,121	1,508	227	86	25	9	25	24	4,025	27		
10月	30	63	1,567	1,959	1,398	172	64	10	2	16	14	3,635	22		
11月	29	65	1,479	1,819	1,336	178	50	9	7	24	20	3,443	20		
12月	27	45	1,349	1,658	1,242	115	52	16	5	18	7	3,113	18		
1月	27	48	1,306	1,616	1,176	162	48	17	12	12	11	3,054	25		
2月	27	41	1,307	1,566	1,197	114	49	12	5	12	17	2,972	24		
3月	30	79	1,478	1,868	1,362	148	52	7	6	26	29	3,498	30		
合計	347	1,609	18,080	22,564	16,348	1,997	685	171	99	351	215	42,430	326		
月平均	29	134	1,507	1,880	1,362	166	57	14	8	29	18	3,536	27.2		
日平均			52.2	65.2	47.2	5.7									
28年度	346	737	19,256	23,740	17,137	2,069	838	144	116	327	219	44,590	476		
	29	61	1,604	1,978	1,428	172	70	12	9	27	18	3,715	39.6		
27年度	348	661	18,832	22,995	16,719	1,901	872	170	121	306	166	43,250			
	29	55	1,569	1,916	1,393	158	72	14	10	26	14	3,604			
26年度	347	902	19,178	24,011	16,777	2,149	1,014	185	135	219	337	44,263			
	29	76	1,599	2,001	1,399	180	85	16	12	19	29	3,689			
25年度	259	1,996	13,814	17,543	12,066	1,714				1,242	253	345	33,163		
	29	222	1,535	1,949	1,341	190				138	28	38	3,685		

*29年度は、4月から利用者登録を更新した。

<運営に関する業務>

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

赤ちゃんサロンやBPプログラムで知り合った0歳親子や、ママ活動に参加している親子が、継続的に来所し交流を深めている。土、日、祝祭日は園児が多く、ひろばで出会った異年齢の子ども同士で遊んでいる。幼稚園児の利用は減ってきたが、動きが活発なため安全に遊べるよう対応している。日々のミニお楽しみ会、毎月の製作やイベントは利用者同士の交流や育児の学びになった。

① 施設、遊具の環境づくり

- ・幅広い年齢の親子が同時に過ごす場所であることから、利用者が安心して安全に過ごすことに留意し、年齢に合わせた遊具と環境づくりに配慮した。
- ・電車の運転席と運転手帽子、牛乳パックのままごとテーブルなどの製作に、子どもたちも参加した。
- ・縁日ごっこのため「玉入れ」と「うみのトンネル」を作成し、イベント終了後もコーナー遊びを楽しんだ。
- ・もりんぴあフェスティバルの図書館リサイクルを利用し、本や紙芝居をひろばに役立てている。
- ・利用者から本や子どものドレス、チャイルドシートなどが寄せられ、利用者同士や広場で活用した。
- ・授乳室のカーテンに授乳中とわかるよう看板で表示し、椅子の配置を変更した。授乳ケープを準備し、利用者から寄付された授乳クッションを置いた。
- ・ひろばの壁面製作：季節を感じるテーマにそって毎月親子で製作し、作品を持ち帰ったりひろば壁面に掲示した。

② 利用者対応と利用者同士の交流

- ・スタッフとの信頼関係もでき、ひろばを安心して利用する方が多くなっている。
- ・上の子どものいやいや期などで困っているきょうだい連れについては、スタッフが下の赤ちゃんを見守り、上の子どもと母親がゆったりと過ごせるように配慮した。
- ・妊娠中の母親の状況をよく観察し、体調が悪いときには上の子どもの遊びの援助した。
- ・2、3歳の遊具の取り合いなど子ども同士のいざこざのときは、スタッフが子どもの気持ちを代弁して丁寧に伝え、母親が年齢に応じた子どもの育ちを理解できるようにした。母親同士で解決したり、子どもを見合ったりして、助け合うようになってきた。
- ・土、日は父親や祖母が子どもを連れてきたり、家族での来所が多い。出会った幼児同士仲良くなったり、きょうだいの小学生が小さい子どもとふれあい、異年齢の交流の機会となっている。
- ・看護の実習生やボランティアのお兄さん、お姉さんとかかわり、遊びの幅が広がっていた。2人連れの母親は、上の子どもと遊んでもらいゆったりと過ごしている。
- ・利用者とスタッフの何げない会話は育児の息抜きとなり、ほっとできる時間である。スタッフは母親の大変さに寄り添いつぶやきに耳を傾け、エピソード記録として毎日記入し、スタッフ同士で共有した。
- ・ミニお楽しみタイム：11時と閉所前の1日2回、わらべうた、童謡、読み聞かせを行った。子どもたちの様子や年齢に合わせて紙芝居や大型絵本を交え、季節の行事のときにはパネルシアターを楽しんだ。

③ ボランティアや地域の人との交流

- ・社会人、学生の実習、ボランティア：ボランティアセンターに「お兄さん、お姉さんボランティア募集」を依頼し、もりんぴあと図書館にちらしを掲示したところ、大学生や高校生の参加につながった。今年度は国際医療福祉大学2年生の実習を受け入れた。母親は年が近い若い人と会話を楽しみ、実習生も母親から育児の経験談を聞くことで有意義な体験になった。また高校生や大学生が研究や大学の課題のためにひろばで取材したり、親子とふれあい体験したりした。
 - －国際医療福祉大学成田看護学部実習（2年生）：8～12月、4名ずつ2日間、62名
 - －社会人ボランティア：1名 今年度からこども園に勤め休日に活動。
 - －課題、受験のため等のボランティア：大学生7名、高校生2名、中学生1名
 - －研究、受験のため等の来所：大学生3名、高校生1名：
 - －イベント手伝い(5月ダンボール電車、7月縁日ごっこ、9月もりんぴあフェスティバル)大学生4名
- ・職場体験等：10/31 まち探検 公津の杜小2年生と保護者
11/16、17 職場体験 公津の杜中2年生 4名
- ・利用者主体の活動(ママボランティア)：子どもと一緒にママ活動は母親の気分転換ややりがいになった。
 - －手作りサークル”M-girls”：◇縁日ごっこ：13名。6月より毎金曜日、幼稚園児や小学生をもつ母親たちが企画と作業を行った。スタッフやサークルに入っていない利用者も協力した。7月15日(土)

本番当日は親子でお店を担当した。ひろばを利用していた小学生10人がお店の担当として活躍した。

◇クリスマス会：4名。12月に向けてプレゼントづくり。

◇次年度の準備：4名。3月に誕生日カードづくり。

－ハンドベルサークル”B-girls”、コーラスサークル”C-friends”：発表に向けて毎週の練習を6～8回行い、チームのつながりができた。子どもたちは母親のひざや傍らで遊んだり、スタッフに見てもらったりして落ち着いて過ごせるようになった。難しい曲にも挑戦し年々レベルが上がっている。

◇B-girls：夏のお楽しみ会 15名、クリスマス会 14名、春のお楽しみ会 13名

◇C-friends：夏のお楽しみ会 21名、クリスマス会 16名、春のお楽しみ会 10名

・託児ボランティア：「ノーバディズパーフェクト講座」や「あかちゃんのおやつ」（特別企画）の託児に、利用者である幼稚園児の母親が参加した。子どもの世話にも慣れているのでとても頼りになっている。

・ひろばのボランティア体験：利用者の幼稚園児の母 5日間

・地域の人の来訪、交流

－おもちゃクリニックに月1回遊具の修理を依頼。絵本やおもちゃをいただいた。

－杜の家なりたより保育士と子どもたちが来所、遊び場として利用した。

－たんぼ保育園より園児20名、職員5名が来所、遊び場として利用した。

－県立成田国際高校あかちゃんふれあい実習の親子ボランティアに、利用者が参加申込みを行った。

－成田国際福祉専門学校のもりんぴあこうづでの発表会を、ひろばで周知した。

－国際医療福祉大学より訪問見学3名 －図書館ボランティアの方が見学

－クリスマス会で、サンタさん役1名をアクティオに依頼。

－利用者の保護者（祖母）から手作りの折り紙（動物など）をいただいた。

－取材：スターツ、ケーブルテレビ（手作り講座、お誕生会&お楽しみ会）

・他団体主催イベントへの協力

－7/25 もりんぴあこうづ主催お散歩倶楽部：協力参加（2名）、“C-friends”出演

－9/24 もりんぴあフェスティバル：髪飾りの手作りコーナー、お絵かき作品展、ひろば紹介パネル展示

－12/23 もりんぴあこうづ主催クリスマスミュージックフェスタ：“B-girls”出演14名

－もりんぴあこうづ主催ピラティス講座：託児用遊具貸出し

－1月スカイタウンホール「トイキャラバン」：ボランティア活動 スタッフ5名

・「成田市子育て応援サイト」：子育て応援サイト編集会議に月1回出席（1名）。会議時に託児用遊具を貸出し。11/4なりすく「股関節脱臼」の記事についてスーパーバイザー（助産師・看護師）が協力した。

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

・面談や電話等による育児相談を実施した。

・スタッフ相談：親子の遊びを援助しながら日々の暮らしを話題にし、その流れの中で相談を受けることが多い。心配な親子にはスタッフが寄り添って話を聴き、来所をすすめた。スタッフが一緒に子どもとかわかることで、親が子の成長を確認し安心感をもつようになった。子どもをサポートしながら母親の困りごとを聴き、一時保育やファミリーサポートなどの支援情報を伝え、一人で抱えないように助言した。

<内容> 授乳、離乳食、発育、湿疹、おむつはずれ、便秘、言葉、睡眠、生活リズム、大泉門、
いやいや期、叱り方、子どもの接し方、砂遊び、夜泣き、パパとのかかわり、就学、
年上の子どもとのトラブル、きょうだいの対応、引っ越し先の出産、防音対策 など

・スーパーバイザー（助産師・看護師）相談：普段気になっていることを気軽に相談できる。

<内容> 授乳、離乳食、便秘、母乳性黄疸、卒乳、栄養、寝返り、汗も、湿疹、おむつはずれ など

・情報提供：相談の中で専門機関や地域の資源について情報提供した。内容について記録し、どの機関と連携したか、どのような情報を求めているのかをまとめた。

- ・相談内容：保育園、幼稚園情報や離乳食、発育などの相談が多い。栄養士、歯科衛生士による講座は、専門家の話のあとの個別相談が好評である。利用者同士で悩みの共有ができるよう、同じ年齢や月齢の利用者に声をかけ情報交換できるよう橋渡しをしている。
- ・課題があるケース：スタッフで共有し、スーパーバイザー（看護師・助産師）のアドバイスをうけている。また子育て支援課、健康増進課につなぐようにした。
- ・専門機関との連携：特別な配慮が必要な親子については、いつ来所してもスタッフが自信をもって対応できるよう、個々のケース記録にまとめて共有した。他の専門機関のサポートが必要なケースについては、積極的に子育て支援課、健康増進課、こども発達支援センター等と連携をとり、報告、情報共有し、助言を受けることで、ひろばでの有効なサポートにつながった（11 ケース中 5 ケース）。9 月に健康増進課、子ども発達支援センター、子育て支援課と顔合わせし、連携のありかた、重要性を確認できた。

(3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・「公津の杜なかよしひろば便り」を月 1 回発行し、イベント情報、ひろばの様子や過ごし方、育児のヒントなどの記事を掲載した。公津の杜コミュニティセンター、公津の杜図書館に掲示した。成田市ホームページに掲載し、子育て応援サイトやブログからの閲覧を可能とした。
- ・市の支援機関や他団体の情報を、内容別・発信者別に分類して掲示し、パンフレットなどを持ち帰れるようにした。図書館お話し会、成田おむすびプレーパーク、子どもプラザ成田、わらべうたの会など、地域の団体や利用者から発信する情報も多くなり、依頼があったときは積極的に周知している。
- ・健康増進課の健康カレンダーを配布し、相談の際に利用者と一緒に見ながら情報提供した。
- ・市の広報を置き、子育てに関する情報を切り抜いてわかりやすく掲示した。
- ・市の子育て応援サイトにイベント情報を随時掲載した。パンフレットを配布してサイトの利用を勧めた。
- ・幼稚園情報、保育園入園の情報をファイルにして置いた。多くの利用者が熱心に見ている。
- ・もりんぴあフェスティバル、健康福祉館まつりでひろば紹介を展示し、パンフレットを配布した。
- ・公津の杜コミュニティセンターのお知らせを見やすい場所に、イベントを常時お知らせした。

発行月	ひろば便りのテーマ
H29 年 4 月	なかよしひろばの講座が変わります
5 月	こどものごはんのこと
6 月	ふだんのひろばでゆったり子育て
7 月	水遊び、どろんこ遊びの夏
8 月	ママたちが輝いた夏
9 月	夏休み お兄さん・お姉さんとふれあいました
10 月	テレビ、ゲーム、スマホ…どう関わっていますか
11 月	“おんぶ”してみませんか？
12 月	子どものアートのせかい
H30 年 1 月	冬こそ外遊び
2 月	ふだんのひろばを楽しもう
3 月	みんな大きくなったね

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ① 子育て講座：今年度は子どもの生活の課題をとらえて、母親に知ってほしい子育ての知識をわかりやすく伝えるようにした。さらに利用者間で情報交換ができる時間を講座内に設けた。9月「メディアと子育て」では、赤ちゃんの頃からのテレビ、スマホなどのメディアの視聴について考えるきっかけになるよう、1日の中で親子がメディアに触れている時間などを記入した表を基に、利用者同士で話し合った。

開催日	内容	講師・主に活動した人	参加数
H29 年 4 月 25 日(火)	オムツはずれ	ひろばスタッフ	40 組
5 月 16 日(火)	歯磨き	成田市健康増進課 歯科衛生士さん	20 組
6 月 16 日(金)	幼稚園入園	ひろばスタッフ、幼稚園ママ	67 組
7 月 11 日(火)	イヤイヤ期	ひろばスタッフ	46 組
9 月 12 日(火)	メディアと子育て	ひろばスタッフ	20 組
11 月 30 日(木)	おもちゃと子育て	おもちゃコンサルタント・ひろばスタッフ 松原寿子	35 組
H30 年 1 月 19 日(金)	生活リズム	ひろばスタッフ	25 組
2 月 16 日(金)	絵本と子育て	ひろばスタッフ	15 組
3 月 10 日(土)	防災と安全	ひろばスタッフ	16 組

②赤ちゃん講座：1歳半までに内容を特化し、知識を得るだけでなく「足形こいのぼり」や「おもちゃ作り」といった親子で楽しめる内容で開催した。離乳食や健康講座では講座後に個別相談を行った。「おんぶと抱っこ」では実践を取り入れ、ひとり一人に丁寧にやり方を伝授した。

開催日	内容	講師・主に活動した人	午前参加数	午後参加数
H29年4月20日(木)	足形こいのぼり	ひろばスタッフ	60組	-
5月25日(木)	離乳食	成田市保育課 栄養士さん	25組	-
6月6日(火)	健康講座	国際医療福祉大学看護科講師 佐藤美奈子先生	32組	-
7月20日(木)	行動と安全	ひろばスタッフ	28組	-
9月5日(木)	授乳について	国際医療福祉大学看護科講師 佐藤美奈子先生	30組	-
10月19日(木)	おんぶと抱っこ	ひろばスタッフ	7組	8組
11月14日(火)	健康講座	国際医療福祉大学看護科講師 佐藤美奈子先生	21組	-
12月21日(木)	おもちゃづくり	ひろばスタッフ	20組	18組
H30年1月25日(木)	離乳食	成田市保育課 栄養士さん	45組	-
3月15日(木)	あそび	ひろばスタッフ	16組	5組

③手作り講座：季節の飾りを様々な素材で手作りし、持ち帰って飾れる作品と好評であった。問合せが多い牛乳パックの椅子の作り方について、講座として開催した。

開催日	内容	主に活動した人	参加数
H29年4月12日(水)	こいのぼり	ひろばスタッフ	16組
8月30日(水)	牛乳パック椅子	ひろばスタッフ	21組
12月12日(火)	クリスマスリース	ひろばスタッフ	15組
H29年2月13日(火)	ひな飾り	ひろばスタッフ	16組

④作ってあそぼう：今年度から実施した。「ダンボール電車」やひろばの窓に絵を描く「ペイント遊び」のような普段家庭ではできない遊びと共に、「米粉ねんど」のように家でもできる遊びや持ち帰って遊べるおもちゃ作りを取り入れた。土曜日開催の日は父親の参加も多かった。

開催日	内容	講師・主に活動した人	午前参加数	午後参加数
H29年4月21日(金)	くるくるこいのぼり	ひろばスタッフ	10組	23組
5月13日(土)	ダンボール電車	パパサークル”いちかわ育メンズ”の皆さん	30組	
6月10日(土)	ペイント遊び	イラストレーター バナナヤマモトさん、ひろばスタッフ	35組	
7月31日(月)	牛乳パックボート	ひろばスタッフ ひろばのママたち	33組	34組
8月22日(火)	新聞ヨーヨー	ひろばスタッフ	16組	20組
9月6日(水)	米粉ねんど	ひろばスタッフ	20組	
10月24日(火)	紙コップのおぼけ	ひろばスタッフ	23組	16組
11月18日(土)	ペイント遊び	イラストレーター バナナヤマモトさん、ひろばスタッフ	20組	
12月16日(土)	牛乳パックけん玉	保育士・りゅうやお兄さん、ひろばスタッフ	14組	
H30年1月11日(木)	たこ	ひろばスタッフ	26組	10組
2月2日(金)	鬼のお面	ひろばスタッフ	16組	17組
3月12日(月)	パクパク人形・望遠鏡	ひろばスタッフ	17組	11組

⑤赤ちゃんサロン：1歳半くらいまでの赤ちゃん親子が出会い、交流できる場として実施した。前半はわらべうた、後半は母親同士で交流する時間を設けた。

開催日	参加組数		開催日	参加組数		開催日	参加組数	
	午前	午後		午前	午後		午前	午後
H29年4月4日(火)	9組	7組	8月1日(火)	7組	3組	12月5日(火)	8組	12組
5月2日(火)	9組	7組	9月21日(木)	14組	11組	H30年1月9日(火)	6組	6組
6月15日(木)	8組	9組	10月3日(火)	10組	5組	2月15日(火)	8組	9組
7月4日(火)	12組	14組	11月7日(火)	7組	13組	3月6日(火)	14組	6組

「赤ちゃんサロン ねんねちゃん」：6ヶ月くらいまでの赤ちゃん親子を対象に実施した。

平成30年2月6日(火) 午前13組、午後4組

⑥お楽しみ会&お誕生日会：誕生月の親子を利用者の皆さんと祝う会として実施した。

お楽しみ会では、季節に合わせてゲストやスタッフ、ママ活動の発表などを取り入れた。

開催日	内容	講師・主に活動した人	お楽しみ会 参加数	お誕生会 参加数
H29年4月28日(金)	出会いと春	ひろばスタッフ	27組	14組
5月30日(火)	親子でクラシック	アミーチあんだんての皆さん	43組	11組
6月29日(木)	雨と遊ぼう	ひろばスタッフ	36組	9組
7月21日(金)	さあ！夏休み	ひろばスタッフ、ママハンドベル・コーラス	50組	12組
8月24日(木)	アロハの気分で！	ウクレレサークル プルメリアの皆さん	45組	14組
9月28日(木)	秋のはじまり	ひろばスタッフ	38組	10組
10月26日(木)	親子でクラシック	アミーチあんだんての皆さん	40組	15組
11月28日(火)	みんなでダンス	幼児体育指導員・保育士 マリンさん	40組	7組
12月22日(金)	親子でクリスマス	ひろばスタッフ、ママハンドベル・コーラス	80組	8組
H30年1月26日(金)	親子でリミック遊び	ひろばスタッフ	33組	6組
2月21日(水)	ゆきやこんこ	ひろばスタッフ	35組	11組
3月23日(金)	みんな大きくなったね	ひろばスタッフ、ママハンドベル・コーラス	50組	14組

⑦おそとひろば（大作台公園）：公園遊びを通して親子で仲間と交流する機会として、今年度は月2回実施した。双子親子が初めての外遊びとして参加したり、下の子どもが生まれて家にこもりがちな親子の外遊びの機会になった。暑い季節はどろんこ遊び、寒い季節は凧あげなどが人気だった。簡易な水遊びができる「ちょこっと水遊び」を8月に4日間連続で開催した。学生ボランティアや看護実習生が参加し、子どもたちの遊びをサポートした。

おそとひろば

開催日	参加数	開催日	参加数
H29年4月6日(木)	23組	11月2日(木)	20組
4月13日(木)	15組	11月9日(木)	20組
5月11日(木)	18組	12月7日(木)	20組
5月18日(木)	20組	12月14日(木)	14組
6月1日(木)	13組	H30年1月11日(木)	20組
6月8日(木)	13組	1月18日(木)	14組
7月6日(木)	25組	2月1日(木)	10組
7月13日(木)	30組	2月8日(木)	18組
9月7日(木)	17組	3月1日(木)	16組
9月14日(木)	27組	3月8日(木)	雨天中止
10月5日(木)	20組		
10月12日(木)	17組		

おそとひろば ちょこっと水遊び

開催日	参加数
H29年8月7日(月)	20組
8月8日(火)	10組
8月9日(水)	13組
8月10日(木)	7組

⑧リラックスピラティス：講師はひろば利用者でもあり、子どもを遊ばせながらひろば内で参加できる。赤ちゃんのいる母親の参加が多く、体を動かす良い機会となった。

・講師：諏訪貴子さん（FTPアドバンスマット
インストラクター・Peak Pilates PPS1修了）

開催日	参加数	開催日	参加数
H29年4月17日(月)	33組	10月30日(月)	16組
5月15日(月)	18組	11月20日(月)	18組
6月19日(月)	30組	12月18日(月)	11組
7月10日(月)	25組	H30年1月15日(月)	25組
8月21日(月)	15組	2月19日(月)	14組
9月11日(月)	26組	3月19日(月)	23組

⑨ひろばキッズ（もりんぴあこづ会議室または工芸スタジオ）：仲間作りの機会と遊びの体験がふくらむよう企画した。今年度は年齢を分け4回シリーズを年に2回ずつ開催した。絵の具や米粉粘土作りなど家ではできない遊びと思っていた母親も、家でできる自信となった。毎回、母親同士の交流の時間を取った。

ーひろばキッズ1歳 5/19 16組、5/26 14組、6/2 16組、6/9 10組
9/8 15組、9/15 12組、9/22 15組、9/29 14組
ーひろばキッズ2歳 6/23 12組、6/30 10組、7/7 12組、7/14 14組
10/6 15組、10/13 14組、10/20 13組、10/27 4組

⑩特別企画：縁日ごっこやウインターコンサートを引き続き実施した。「保育園入園」では講師の話に加え、成田市内の保育園に通う母親から体験談を聞く機会となり、先輩の母親を交えた情報交換が好評だった。

開催日	内容	会場、講師、主に活動した人 など	参加数
H29年5月9日(火)	赤ちゃんのごはん 2)	会場:もりんびあこづキッチンスタジオ/工芸室(託児)	9組
6月13日(火)	出張ひろば 1)	会場:久住公民館	14組
7月15日(土)	縁日ごっこ	ひろばスタッフ、ママ・小学生ボランティア	60組
10月31日(火)	赤ちゃんのおやつ 3)	会場:もりんびあこづキッチンスタジオ/工芸室(託児)	12組
H30年1月27日(土)	保育園入園	帝京平成大学児童学科・韓仁愛先生、ひろばスタッフ	32組
2月12日(月)	ウインターコンサート	演奏:Toy Boxの皆さん	38組
2月22日(木)	通園グッズをつくろう!	会場:工芸室	3組
3月29日(木)	おりがみせんせいの日	折り紙講師 滝口和子先生、ひろばスタッフ	15組

1) 出張ひろば: 参加14組、スタッフ 伊藤・谷口・佐藤(看護師・助産師)
初めての出張ひろばを、駅前に新しい住宅が広がる久住地区で開催し、5ヶ月～3歳の15名の子どもと母親が集まった。わらべ歌を歌ったり自由遊びのあと、交流タイムには佐藤先生に発達や体調の相談をする母親もいた。参加者から「自然が沢山ある」、「公園で遊んでいる親子がいない」など地域ならではの話も聞かれた。



2) 赤ちゃんのごはん: 親子が同じものを食べることをテーマに、託児付き調理企画を初めて開催した。スタッフと一緒に大人のご飯からとりわけで離乳食を作る間、赤ちゃんは託児室で過ごした。食事タイムでは母親のひざの上でみんなで食べ、赤ちゃんはいつもと違って食が進んでいた。

3) 赤ちゃんのおやつ: アレルギーの子どもが食べられるように、小麦粉、卵、牛乳を使わず米粉を使うおやつを作った。試食タイムでは母親同士の交流ができた。隣の工芸室で12名の託児をし、「預かりを経験させてくれて良かった」、「卵アレルギーなのでレパートリーを増やせて良かった」などの感想があった。

⑩ B Pプログラム: 生後2～5か月の赤ちゃんを初めて育てている母親を対象とした4回連続講座を、公津の杜コミュニティセンター会議室で開催した。3回目は保健福祉館で開催し、市内の様々な地域から参加があった。市の広報や子育て応援サイト、健康増進課、子育て支援課、また3回目は地域の小売店や病院などに、参加者募集チラシの掲示を依頼した。講座では親子でふれあいながら、母親同士で話し合い、これからの子育てに必要な知識を学び、母親同士の交流していた。参加者の感想では「思い切って外出する良い機会となった」、「困りごとが解決するわけではないが、話すことでスッキリできた」とあり、講座後には出会った参加者同士でひろばに来所している。

開催期間	参加数	開催場所	ファシリテーター
H29年5月10日(水)～5月24日(水)	10組	公津の杜コミュニティセンター 会議室D	齋藤まり子・島田朋子
10月4日(水)～10月25日(水)	11組	公津の杜コミュニティセンター 会議室D	寺内理絵子・島田朋子
H30年2月23日(金)～3月16日(金)	18組	成田保健福祉館 和室ゆうゆう倶楽部	伊藤雅子・園川緑

⑪ 子育て講座・ノーバディズパーフェクト講座: 公津の杜コミュニティセンター会議室で開催。

カナダ生まれの0歳から5歳までの子どもを持つ親のための「ノーバディズパーフェクト」は、「完璧な人はいない」のメッセージのもと親自身の知識や経験を土台に、互いに学び合うプログラムである。広報は、市の広報紙、子育て支援課ホームページ、子育て支援サイト、ひろば便り、コミュニティセンターや図書館での掲示、ひろばでの直接の声かけによる。参加者はそれぞれの子育てのやり方を聞いて「これでいいんだ」と自信を持ち、ヒントをもらって前向きに考えられるようになっていった。親子関係や夫への接し方にも変化があった。講座後ひろばで出会い、話したり連絡を取り合いつながりができている。

- ・11月10日～12月15日 毎金曜 10～12時 6回 ファシリテーター: 齋藤まりこ、松原寿子
- ・参加者: 母親14名、託児9か月～3歳17名、きょうだい3組
- ・託児ボランティア: 幼稚園ママボランティア7名、スタッフ3名

<施設及び附属設備及び備品の維持管理に関する業務>

(1) 施設設備の保守管理

- ・施設を安全かつ安心して利用できるよう、施設の破損など予防保全に努めるとともに、日常点検を実施し、不具合を発見した場合は、速やかに市へ報告した。
- ・市所有の備品については、市と情報を共有しながら備品台帳を作成し、管理を行った。
- ・遊具の使用については、利用者も多く子どもの年齢の幅広いので、消耗も激しいため、日常の点検・管理には特に留意した。
- ・乾燥機設置、食事室のビューラックス保管棚のちょうつがい修理、子ども用トイレのドア工事

(2) 環境維持管理業務

- ・衛生管理については、常に室内清掃、消毒、遊具の洗浄などに留意した。室内の室温、換気、湿度に留意し、インフルエンザやノロウイルス対策などについて、感染予防の周知と対策に努めた。嘔吐の処理については次亜塩素酸ナトリウム希釈液や使い捨て手袋などを常備し、対応についてスタッフで共有した。
- ・第二金曜日の午後はふだん消毒できないすべての遊具の消毒を行った。大掃除ではふだんできない遊具を洗ったり、食事室の床掃除やいすの掃除をした。畳コーナーや床の拭き掃除を毎朝実施した。子ども用トイレと食事室は、まめに点検して掃除するように心がけた。
- ・エアコン使用は天候や利用者数によって適温を保つことが難しい。エアコン口から水滴が落ちる。
- ・環境測定が毎月1回実施された。室内の気温や湿度など調整。

(3) その他の業務

① 安全管理について

- ・事件、事故などが発生した場合に備え、緊急連絡先、連絡方法などを記載したマニュアルを作成、掲示し、迅速な行動がとれるようにした。
- ・事故防止については、様々な探索行動や動きをする子どもの特性を配慮して、乳児と幼児のコーナーの住み分け、施設内の棚の配置の考慮、安全柵設置、遊具の破損チェックによる誤嚥防止など配慮した。
- ・遊具の安全性については、滑り台と大型ソフト積み木の使用については、初めて来所したときに利用者にていねいに説明し、日頃も声をかけ、スタッフが見守るようにした。
- ・入口、食事室、トイレに安全柵を設置し、閉めてあるかどうかを確認するように心がけた。
- ・日々の会議や申し送りで、ヒヤリハットの事例報告、検証をした。
- ・ひろば内で起こった事故については迅速に対応し、遅滞なく子育て支援課に報告した。
- ・避難訓練：地震などの災害に備え、実施の時間帯や曜日、スタッフのメンバーを意図的に変え、いつ、どんなスタッフでも対応できるようにした。避難場所の確認や避難袋の中身について利用者と共有した。3月は「防災と安全」の講座の中で避難訓練を行い、土曜の開催で父親の参加があった。東日本大震災のスタッフの経験から防災の心がまえについて話しをした。またスーパーバイザー（助産師・看護師）から簡易おむつの紹介があり、災害時の子どもをもつ家庭に必要な防災用品を紹介した。

開催日	参加組数	開催日	参加組数
H29年5月24日(水)	12組	H30年1月28日(日)	9組
7月27日(木)	16組	3月10日(土)	20組
9月30日(土)	9組	3月8日(木)*	1組

*もりんぴあこうづの消防訓練に利用者とスタッフが参加

- ・1/23(火)大雪のため、家が近いスタッフが緊急出勤して雪かきし、安全対策を行った。

②苦情・意見等の受付について：内容、対応状況は下記の通り。

- ・利用者から「ネットの中に『スタッフに子どもを見てもらって図書館でゆっくりできる』とあった。」と

の訴えがあった。そのようなことはできないことを利用者に伝え、スタッフで共有し、ロコミの掲載サイトに修正を依頼した。(該当のロコミサイトへの掲載は平成25年当時のもの)

- ・公津の杜コミュニティセンターのお客様の声より「なかよしひろばは夏でも手洗い場はお湯がでます。無駄だと思います。」のご意見があり、暖かい時期は、電源を切って冷水にした。
- ・公津の杜小の先生が「ガラスペイントに生徒がらくがきをしたようなので、消してほしい。」と来所した。子どもの名前と中傷のようなことが書かれていたので、その箇所のみ消した。
- ・利用者が、ひろば主催講座で知り合いの利用者にひろば内でネットワークビジネスの仕事の勧誘をする事例があり、子育て支援課となかよしひろば3館で対応を共有した。

<会議・研修等実施内容>

(1) 会議

- ・スタッフ会議(なかよしひろば職員)：毎月1回行い、利用者対応、課題あるケース、講座計画、ふりかえりなど、ひろば運営について、話し合い共有した。2月と3月は次年度の企画と準備を行った。
毎月第2金曜日(2、3月は第1、3金曜日) 計14回実施
- ・もりんぴあ関係者4者会議：アクティオ、市民協働課、公津の杜図書館、子育て支援課と、担当者が集まり、施設管理、運営面などについて共有した。また各所のイベントや様子について情報交換した。特にアクティオとは日々やりとりし、施設の安全管理、清掃について連携がはかれた。(伊藤・島田)
毎月1回、主に第4木曜日に開催 計12回実施
- ・その他
 - 一視察 ・4月成田市役所新人職員
・福島県矢吹町議員(市民協働課・子育て支援課)
 - 一連携機関 ・6/9 子育て支援課2名より虐待発見マニュアルの説明
・ひろば3館ミーティング
 - 7/4 子ども館(伊藤)顔合わせ、情報共有など。
 - 9/1 もりんぴあこうづ(伊藤・島田)
こども発達支援センター・健康増進課・子育て支援課・ひろば3館の各機関顔合わせ
 - 1/11 三里塚コミュニティセンター(伊藤・島田・谷口)
大規模災害時の各館の行動確認、なかよしひろば内での営業活動等の対応についてなど

(2) 研修

基本的な支援者の姿勢を身につける研修、家族援助のための知識の習得、子育て支援に必要なスキルの研修を継続的に行うため、内部研修の実施、外部研修への参加を進めた。

- ・4/22(土) Good, Bad, and Unknown—子どもとメディア(伊藤 聴講)
- ・4/29(土) パネルシアター研修(川島、竹田 受講)
- ・5/15(月)～ 子育て支援員研修(佐藤、樋口、笠井、田中 受講)
- ・5/22(月) アクティオ主催 普通救命講習(AED)(林 受講)
- ・5/21(日)、22(月) 日本保育学会大会(伊藤 参加)
- ・5/26(土)、27(日) こども環境学会大会(伊藤 参加)
- ・9/6(木) 児童虐待の早期発見と初期対応 研修会(上野、川島、尾野 受講)
- ・9/22(金) 子育て拠点施設担当者研修会(島田・川島 受講)
- ・10/16～ 子育て支援員研修(島田・藤見 受講)
- ・12/27(水) 乳幼児の心肺蘇生法講習(成田市役所)(谷口、尾野、竹田、伊藤 受講)
- ・2/13(火) どうならない子育て練習法(子育て支援課)(林 聴講)

2 産褥期の親のサポート事業

2. 1 産前産後サポート「カンガルークラブ」

妊婦やおおむね生後6ヶ月までの乳児がいる家庭を対象に、自宅を訪問してサポートを行った。AITI（母子保健相談窓口）や子育て支援課からの紹介で、初産の方の申込みが増えた。つわり・切迫流産など妊娠中のサポートや、産後の疲れ・腱鞘炎などのサポートの他、1人での子育てが不安でとにかく誰かに見に来てもらいたい、話したいという依頼があった。サポート後は、少しずつ広場などに出向いていくようになった。

－カンガルーママさん研修：11/19(火) シェアスペースにわにわ 14名参加

午前：産前産後のこころとからだ、出産の現状 講師：助産師 佐藤美奈子先生

午後：訪問ロールプレイ、沐浴実習

講義と実習を通して実践を振り返りカンガルークラブの意義を共有することで、スタッフのやられた感、やりすぎたことなどを整理することができた。利用者と一緒に相談しながら活動することで、ママの成長につながることを学んだ。

－利用者アンケート：6時間の活動が終わった方を対象に、依頼のきっかけ、依頼内容、依頼してどうだったか、などを書面で回答してもらい、5名全員から回答を得た。活動内容の細かな評価はなく、来てもらったこと、手助けしてもらったことがありがたい、という声が共通していた。

<カンガルーサポート>

地区	入会	出産月等	担当	依頼内容	依頼回数
菅野	10月	11月 第2子	井上	上の子の世話、家事	11～4月3回
八幡	12月	5月 第2子	花蜜・牧野	掃除、炊事	12月2回、5～6月4回
八幡	3月	11月 第1子	花蜜・藤城・塩路・牧野・内山	沐浴介助、家事	3～5月7回
市川南	5月	1月 第2子	花蜜・内山・塩路・藤城	上の子の世話、家事	6～2月29回
柏井	6月	1月第1子	花蜜		6月3回
鬼高	7月	2月第2子	未登録		
中山	7月	9月第3,4子	未登録		
南八幡	9月	8月第1子	花蜜・小林	見守り、家事	9月3回、12月1回
南八幡	9月	11月第2子	未登録		
田尻	9月	7月第1子	花蜜	見守り	10月3回、12月1回
二子町	9月	8月第2子	花蜜	下の子預かり	11月2回、12月1回
相之川	10月	9月第1子	寺内、川俣	同行、預かり、見守り	10～11月4回
南八幡	2月	4月第2子	花蜜	家事 ※1	
本中山	3月	9月第2子	花蜜	家事	

※1 産後ホームヘルプ利用

2. 2 子育て支援サポーター養成講座

(1) 子育て支援サポーター養成講座 今年度は開催していない。

(2) ステップアップ研修 今年度は開催していない。

(3) 外部研修

－5/23(火)「ちらしの書き方」アイリンク 1名

－6/ 3(土)「女性のための起業セミナー」男女共同参画センター 1名

ー6/24(土)「わらべうた研修会」4名

ー6/29(木)「親カスキルアップ講座 子育て維新の機中八策」グリーンスタジオ 渡邊直氏 1名

3 子育て支援のネットワーク事業

3.1 託児支援

公民館主催講座や防災講座など、行政主催の講座託児に要請があり、保育者を派遣した。保育人数が確定しない中で、スタッフの確保や主催担当者との調整が難しかった。いちかわ文化ステーションのスタッフ、ハンドベルサークルメンバー、いちかわ子育てネットワークのメンバー等の協力のもと活動することが出来た。スタッフ確保を円滑に進めるため、2月にボランティア登録用紙を作成した。

11月から、月1回シェアスペースにわにわで行っているヨガ教室の同室託児を定期的に受けている。利用者がヨガに集中出来るよう配慮した。

団体登録をしている育自サークルひまわりは、託児人数が少なかったり活動が休みとなることがあり、来年度からはファミリー・サポートを利用することになった。

団体名	年齢	時期・回数・託児人数	場所	担当
育自サークルひまわり *いくじネットいちかわ 登録サークル	0～6歳	4月2回3名、5月1回1名、6月2回7名、 7月1回2名、8月なし、9月2回2名+見学1名、 10月2回6名、11月2回2名、12月1回2名 1月2回4名、2月2回5名+体験2名、 3月2回4名+体験2名 *6・7月はコーチング講座 各2時間 計17回38名 平均2.2名 *29年度1.9名、28年度3.6名	行徳公民館	森元、森、 寺内、徳安、 三宅

ー市川子ども文化ステーション総会 全日警ホール：6/11(日)13-16：30 保育者3名、学生6名、託児8名

ーモンテッソーリ講演会 行徳文化ホールI&I：6/17(土)9：30-11：30 保育者2名、学生2名、託児(2歳以上)11名

ー鬼高公民館主催「楽しく無理なく家事家計講座」：10/20、10/27(金) 保育者3名、託児1～3歳8名

ー市川子ども文化ステーション公演託児：

4/2(日)18-20：30 市川文化会館 保育者2名、学生1名、託児3歳～小2 5名、

1/28(日)18-20時 市川文化会館、保育者1名、学生1名、託児小1 1名、

2/12(月祝)13：30-15：30 市川文化会館 保育者1名、0歳1名、キャンセル2名

ー女性の防災講座 本行徳公民館：1/20(土)9：30-12：30 保育者6名、託児1～6歳12名

ー国際医療福祉大 潜在看護師研修託児：2/2、9、16、23(金)10-15時 保育者各2名、託児3名

ー信篤公民館主催「パン講座」：2/14、21(水)12-15時 保育者4名、0～3歳8名

3.2 電子媒体広報・通信発行

(1) 電子媒体広報

ブログとFacebookに、通信やお知らせを定期的に更新した。また事業担当者より、当日の様子
の写真や一言エピソードの報告を掲載した。いちかわっこWEBに活動報告等を掲載し、子育て家
庭に情報を届けた。写真について参加者に掲載連絡をしているが、参加者の意見を受け、活動の様
子や雰囲気など写真で伝えたいことや撮影と更新の際の注意点を、各担当者が共有した。

(2) 通信発行

季刊として Vol.72 号から 75 号を発行した。各号をホームページに掲載し、各事業を通じて利用者や関係機関、会員に配布した。

3. 3 子育て支援団体交流

- －奇数月第 2 土曜 勤労福祉センター「ボランティア協会運営委員会」 団体紹介、活動紹介
- －地域ケアシステム推進連絡会 出席：菅野・須和田地区、信篤・二俣地区
- －5/26 (金)、27 (土)「子育て応援メッセ in いちかわ」コルトンホール
4/13、5/11 実行委員会、八幡広場スタッフによる活動紹介と総合案内
- －6/18 (日)「ハッピーマタニティフェスタ in 行徳」行徳文化ホール I&I
4/27、6/8 実行委員会、ミニ親子つどいの広場体験
- －7/19 (日)「ハッピーライフ&キャリアフェスタ in いちかわ」コルトンホール
4/19、5/15 実行委員会、子育て支援情報、託児支援
- －8/ 1 (火) ホームスタート佐倉報告会 1 名
- －9/ 3 (日)「ハッピーマタニティフェスタ in いちかわ」コルトンホール
6/23、8/23 実行委員会、総合案内等
- －11/24 (金)「子育て交差点」行徳文化ホール I&I
9/29、11/2 実行委員会、新井広場スタッフによる活動紹介、ミニ広場
- －11/30 (木) 菅野公民館企画 19 組 講師 1 名、スタッフ 2 名
「ママと一緒に広場で遊ぼう ～わらべうたで遊んだり何でも話して交流しましょう」
- －12/ 2 (土)、3 (日) 日本子ども虐待防止学会 パネル展示による団体紹介 4 名
- －1/26 (金) いちかわ子育てネットワーク「つながる勉強会」勤労福祉センター 3 名
①気になる親子に出会ったら→行政の窓口で直接相談できない場合は、拠点経由で伝える
②産後沐浴ボランティア →産後の母を‘支援してもらう側’と捉えない訪問支援の検討
- －1/29 (月)「いのちの教育講演会」市川市立第六中学校 →インフルエンザ流行のため中止
- 3/ 8 (木)「赤ちゃんプログラム (ふれあい活動)」*保健委員会主催 3 名
鬼高みつばっこに参加した乳児親子 7 組がプログラムに参加した。
- －国際医療福祉大学成田看護学部母性看護実習：公津の杜なかよしひろば：8/14-12/14 63 名
八幡親子つどいの広場：8/21-11/28 32 名、新井親子つどいの広場：9/19-10/26 15 名
- －成田市ブックスタートのボランティア養成講座 講師 (公津の杜図書館依頼)：10/6、20、27 2 名

3. 4 その他 事務所利用サポート

○ 事務所利用サポート

3 月、いちかわ市民文化ネットワークのシェアスペースに、事務所を移転した。広くなり、母親同士で誕生会やクリスマス会などを企画し、密な交流の場になっている。

－親子の利用：12 月 2 回 15 組

○ 会議

- ・ 理事会 4/22 (土)、11/19 (日)、3/24 (土)、5/22 (火)
- ・ コーディネーター会議、事務局会議 毎月各 1 回